

# 「こんなことしてみよう！」 ～きぐみの遊び～

自由遊びの中で、「こんなことをしたい！」と思った自分がやりたい遊びを試したり、友だちとグループになって遊びを進めたりしている様子が見られています。一緒に遊んでいるグループの中で、「こんなのがいいんじゃない？」という考えを受け入れあったり、「〇〇はどう？」とお互いがどうしたいのかを出し合ったりして、共通の目的を見いだして遊びを進めようとしています。

## どんぐりをすりおろしてジュース屋さんごっこ



どんぐりをす  
ると白い粉に  
なるんだよ

友だちがジュースを作る様子を  
じっくり見えています

白い粉と赤いシソジュース  
を混ぜたら、粉が溶けて色  
が薄くなった！

## 無人島の秘密基地ごっこ

後ろを向いて、嵐が来たときに備えていた食料（ピーマン）をこっそりつまみ食いする姉妹になりきった二人



ここならもぐみさんにも見つか  
らない秘密基地になるね

「無人島ごっこ」が始まると、園庭に生えたキノコや畑のピーマン、ミニトマトなどを大量に集めました。食料は自給自足なのだそうです。

ところが、自給自足の様子が珍しくて無人島にももぐみさんがやってきてしまいました。

「どこかに秘密基地を作らなきゃね」という話になり、「しきり（パーテーション）を使えばいいんだ！」と自分達で考えて遊びの場を作りました。

じっくり無人島ごっこができるようになりました。

無人島ごっこを繰り返しているうちに、ハロウィンのイメージも加わって「魔女たちが住む無人島ごっこ」に発展していきました。自分達で考えて魔女の衣装を作ると、魔女の秘密基地で魔女だけが食べられるごちそうパーティーが始まりました。



わたし達（魔女）の魔法のごちそう  
に使えるトマトはないかな～

自分達で役割を分担してパーティー  
に向けてそれぞれ準備しています

わたしは他の島にいる魔女達にパーティー  
のことをお知らせしてくるわ



じゃあお知らせしている間に  
ごちそう作って待っているね

## 火山の噴火

すごい！腕が見えないくらい深いじゃん



↑みどりぐみさんも興味津々

もっともっとマグマがたくさん  
の火山にしくちゃ

わあ～こんなにいっぱい流れ出ちゃった～



みどりぐみの近くの砂山にスコップで穴を掘り、水  
を運んできてためて「マグマがつまった火山」を作  
りました。

「3・2・1、いけー！」のかけ声で、火口の周り  
を崩すと一気にマグマが流れ出て大興奮！